

**岩ネット****6月岩ネットに参加して**

新座山の会：小林純子 記

4月から参加させて頂き、今回で3回目の参加になります。

リーダーの水谷さんが、体調不良のため、今回の講習は、千葉さんがリーダーとして、指導頂きました。

開始前のご挨拶の中で、「ビレイをした事がない人は？」との問いに手を挙げたのは、私一人でした。「では、今日練習しましょう」と声をかけていただいた。千葉さんから、ビレイ器の仕組みや使い方など、清水さんかロープの引き方の手ほどきを丁寧に教えて頂く。このロープの先に命を預かると思うと否応なしに肩・手・脚に力が入る。右手で引いて左手でコントロール。右手を持ち替え1・2・3・4のリズムでロープをさばく。お二人の見守りの中で4人の方のビレイを行った。交替して、岩に登らせて貰うが、指に力が入らない。早々と諦めてしまった。場所を左の面に変え、再度ビレイに挑戦する。段々とロープを引くコツが判り、登る人の動きに合わせてロープを出したり、引いたりする事が出来るようになり貴重な経験を積むことが出来ました。

6月21日（土）岩ネット参加者：所沢3人・新座3人・三郷1人・やまなみ2人合計11人

**7月26日（土曜）岩ネット活動報告**

新座山の会 小林 和文 記

連日の猛暑が続く中、1ヶ月ぶりの岩ネットに心を踊らせての参加でしたが、高麗駅を降りてから日和田のゲレンデに向かうまでに大粒の汗をだらだら流しながらの到着となってしまいました。日和田のゲレンデは、休日の中では比較的空いている状況で、午前中にトライしたコースは初めてトライするコースでした。下から見上げる男岩のコースは掴む所も足場も多々ある様に感じますが、いざ自分で登る段階になると足の置き場にあたふた、手の掴み所にあたふたと登る事と落ちない事でいっぱいになっている自分がいます。水谷講師より岩の掴み方や重心を移動する事、なにより足で登るレクチャーを平地で受けるのですが、頭のイメージと実際の自分の動きが伴わない事に右往左往しながら必死で岩に取りつくといった感じになっていましたが、やはり夢中になって岩を登る事はとても気持ち良いです。1本登る事に大粒の汗をかいて降りたらすぐにスポーツドリンクを口にするという具合でしたが、時よりふく爽やかな風と澄みきった青空が最高でした。

午後からは、男岩西面のコースに移動し、午前とは違った岩の登り方にチャレンジしました。特にクラックに沿って登るコースは、岩の掴み方や重心や身体の位置で自分の腕にかかる力が全く違う事を意識する事が出来て非常に勉強になりました。短いコースでしたが、考える事が非常に多くとても集中力のいるコースに感じました。自分が登る時以外にも参加者が登る姿を見ながらイメージをする事で自分が登る時の参考とするのですが、なかなか上手くいかないのは午前も午後も同じでしたが、前回参加した時よりも午後に入ってから腕の疲れが少なかった事は、1つ成長できた点だと感じました。

最後に東面にて懸垂下降の練習を参加者全員で行いましたが、男岩の上で段取りに人一倍手こずってしまい、岩を登っている時以上にあたふたしてしまいました。

暑い1日でしたがクライミングの技術はもちろんの事、岩場でのルールなども勉強できてすばらしい1日になりました。ありがとうございました。

※ 参加者：山並HC×3、所ハイ・わらび・新座×1、彩山友

## 岩ネット

## 8月岩ネットに参加して 8月16日(土) 日和田ゲレンデ

所沢ハイキングクラブ 沼田 渉 記

天気は曇天。

8時すぎに高麗駅に到着し、男岩までを歩いた。8時を過ぎたばかりで気温は24、25℃程度とこの時期としては涼しい朝であったが、眼下を流れる高麗川では既に数人の子供が水遊びをしている。それでも車道を離れ登山道に入ると、前夜の雨による湿り気が体に障り、たちまちにして汗が吹き出した。

この日の参加者は講師を含めて8名。お盆休みのためか、いつも比べ少なめであった。主要メンバーは前日の深酒がたたり、動きに精彩がない。午前中は南面に張られたロープ1本を我々ビギナーの練習場と化した。自称〇日酔いでいつもより言葉少なな講師であったが、確信部に取り付き、動きの鈍った者を見つけると、「右足を右上のクラックに置け」だとか、「左足で立って右手を取れ」などと指示を飛ばす。しかし、ビギナーの我々にとっては、その場でその姿勢を保つまでで精一杯で、言われた指示どおりに行動する余力はない。そうこうしているうちに腕はパンプし、何度となくロープに身を預けた。そんな私でも、再チャレンジするうちに要領を得たのか、その確信部とやらを、めでたくクリアした。下りは達成感に浸りながらのロアーダウンとなったが、地面に着地するなり、講師から「腕の力で登っちゃ駄目なんだぞ」との指摘を受けた。指摘が的確なだけに反論はできないが、この一言によって喜びは半減した。

昼食後は西面に移動した。初心者は左端のクラックを中心とした箇所、また熟練者はバルジーにそれぞれロープをかけての練習となった。ここでも私は「右のカンテを使うと簡単なんだよな」との講師からの指摘を尻目に、インチキ込みで支点到達し、自分なりの達成感を楽しんだ。そんな中、午後2時を過ぎた頃、ぽつりぽつりと雨が落ち出した。すかさず講師から撤退の指示が出た。午後の雨予報が的中したようで、林に囲まれた日和田ゲレンデでも、雨粒の多さから本降りであることを感じられた。片付けをしている最中にも、雨の勢いは増し、土砂降りとなった。傘もカップも持たない私は、レジャーシートを体に巻き付けた講師を見習い、レジャーシートを頭からかぶり、帰宅の途を急いだ。

※ 参加者：所ハイ×4、山並・わらび・椽×1、彩山友

